

諫早市教育委員会議事録

令和2年第12回（11月定例）

令和2年第12回（11月定例）教育委員会

1 日 時 令和2年11月20日（金） 16時00分～17時15分

2 場 所 諫早市役所 8階 会議室8-2

3 出席者 教育長 西村 暢彦
委 員 秀島 はるみ
委 員 宮本 峻光
委 員 原田 裕介
委 員 山口 秀雄

4 会議に出席した事務局職員

教育次長	高柳 浩二
教育総務課長	田島 正孝
学校教育課長	有谷 孝彦
生涯学習課長	佐藤 小百合
文化振興課長	諸岡 昌史

5 議題

報告第24号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「令和2年度諫早市一般会計補正予算（第5号）」中、12款教育費））

報告第25号 臨時代理の報告について（諫早市少年センター運営協議会委員の委嘱について）

議事録署名人の指名

秀島委員と宮本委員を議事録署名人に指名

議事の非公開

報告第25号については人事案件であるため非公開

議事録の承認

令和2年第11回（10月定例）教育委員会の議事録について
質問・意見なし
原案どおり可決

教育長等の報告の要旨

《教育長の報告》

1 長崎県都市教育長協議会について

11月10日、長崎県都市教育長協議会が開催された。新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年度初めての開催であった。議題以外にも、他市町の教育長とたくさんの情報交換ができた。内容については、まず、今年度、次年度の本協議会の開催方法について。それから、中教審の中間まとめにおける教科担任制の導入、ICT教育等の報告があった。また、令和3年度の文部科学省の概算要求の内容説明については、本協議会の会長である長崎市の教育長が文部科学省から説明を受けて、持ち帰ったものを報告するかたちとなった。それから、学校給食費の公会計化についても話が合った。これは、児童生徒の給食費を学校ではなく市が集金するものである。すでに長崎市や大村市は導入しており、移行するまでのスケジュール、準備作業、また、集金を市が行うことで発生する問題点等について、情報交換を行った。本市においても教育総務課を中心に検討を行っているところである。これまでの給食費滞納分をどうするか、システムの構築等大変

大きな作業となる。それから、令和3年の成人式の運営について。成人式については、現在のところ、県内の全市町が行う予定ではあるが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を注視しながら、感染症の防止対策を講じなければいけないと考えている。

2 長崎県・市町教育長スクラムミーティングについて

長崎県都市教育長協議会と同日、午後から開催された。この会議では、主にGIGAスクール構想の推進と教職員の働き方改革について話がなされた。GIGAスクール構想については、5か年の計画であったものが、今年度中に整備を行ったために今後考えられる課題を話し合った。また、教職員の働き方改革については、大きく2つの柱があった。一つは、どこの学校も教頭が開錠・施錠を行っているため、教頭が一番早く来て一番遅く帰らなければいけないという問題。もう一つは、中学校の教職員が部活動の指導に携わることで、超過勤務が増えているということであった。どの問題も結論が出たわけではないが、現状を話し合い、情報交換を行ったところである。

3 諫早市歯科医師会との四者協議会について

市、県央保健所、歯科衛生士会、市教育委員会での協議会である。学校教育課長から、フッ化物洗口の実施についての報告を行った。

4 諫早市PTA連合会との教育懇談会について

従来、市PTA連合会から要望を受けるというかたちであったが、昨年度から、私が会長へお願いし、要望という一方的なものでなく、市からの問いかけにも答えていただく懇談会という形式で開催することとなった。要望としては4項目、単位PTA事務補助員雇用への支援、GIGAスクール構想の推進、緊急の情報がスムーズに伝わる整備、特別支援教育の充実であった。また、懇談については、新型コロナウイルス対応に関する影響について、児童生徒1人1台端末を家庭に持ち帰った場合の懸念等について意見交換を行った。1人1台端末が整備され、児童生徒が端末を持ち帰った場合、家庭にとって何か懸念されることがあれば、今すぐでなくてもよいので教えてほしいとお願いしたところである。また、新型コロナウイルス対応に関する影響については、学校休業により、子どもたちの生活のリズムが乱れてしまい、朝起きられないとか、精神的に不安定になってしまふという話を聞いた。

5 諫早市社会教育委員会会議について

「学校支援会議」の推進についてということで会議を行った。子どもを核とした温もりのある地域づくりを生涯学習課が中心に推進しており、地域子ども教室と通学合宿に力を入れてやってきた。学校と家庭と地域が子どもの教育について

語り合い、同じ目標を持って、子どもに関わっていこうとする「学校支援会議」の再認識と再活性化を目的として、社会教育委員のご意見を伺ったところである。

6 諫早市教育委員会表彰について

本表彰については、滞りなく遂行できたこと、教育委員の皆様のご出席についてお礼を申し上げる。また、本題からは逸れるが、本日11月20日、こちらにいらっしゃる宮本委員が会長を務める長崎県市町村教育委員会連絡協議会が県教育委員会に対して「人事異動に関する要望」と「教育行政に関する要望」を行ったところである。

7 12月市議会定例会について

12月市議会定例会が11月27日に開会となる。本日11月20日、午後1時30分から議案の記者発表を行ったところである。

《教育長の報告に対する質問・意見》

[委員]

教育長報告の4項目、諫早市PTA連合会との教育懇談会の中にある、特別支援教育について、本日の長崎県市町村教育委員会連絡協議会における県教育委員会への要望時、意見交換会の中でも話題となった。国の基準では通級クラスで、原則、13人に1人の加配となっているのだが、現状は、そうはいかないと。しかし、そうは言いながらも充足率は小学校で81.2%、中学校で87.8%と8割を超えており、かなり充足はされていると、思っていたより高い数値であると、佐々町の黒川教育長がおっしゃっていた。それからGIGAスクールについても、端末機器が整備できたのはいいが、通信費がどれくらいかかるのか、また、数年後の端末機器更新時の費用がどうなるのかといった話が出たが、更新時の費用については、当然国の負担であるという考え方を持っているという回答であった。

《議 事》

報告第24号 臨時代理の報告について（議会の議決を経る議案についての意見の申し出について（「令和2年度諫早市一般会計補正予算（第5号）」中、12款教育費））

教育総務課長、学校教育課長、生涯学習課長、文化振興課長の順に説明

[委員]

付属資料4ページの女夫木の大スギの写真を見ると、下から2番目のバンドが木に食い込んでいるように見え、かなり痛々しい姿となっているが、このような状態であっても国指定文化財となるのか。

[文化振興課長]

昨年度、台風被害に遭った後、文化庁のほうから専門家に来ていただき、現地を

見てもらった。その際、木の幹が分かれてしまっているため、これまでと同様にバンドで締める対策が最善であろうということを確認し、今後も国指定文化財として守っていこうと協議したところである。

了承

《非公開議事》

報告第25号 臨時代理の報告について（諫早市少年センター運営協議会委員の委嘱について）

生涯学習課長 説明

削除

了承

その他

学校教育課長

長崎県中学校駅伝大会の結果について報告

生涯学習課長

第13回諫早市PTA研究大会についてのお知らせ

教育総務課長

令和2年度第1回諫早市総合教育会議及び定例教育委員会の日程について説明

17時15分閉会